



山口市と大内氏について

山口市は山口県のほぼ中央に位置し、豊かな自然や歴史が共存する文化都市です。

室町時代、周防・長門の守護となった大内弘世は、憧れの京の都に模した街づくりをするため、京都盆地に似た山口市に本拠を移したといわれています。大内義興は大陸貿易の利権を握り、西国一の大名となりました。その後、文芸や学問を深く愛した大内義隆は、ザビエルへキリスト教の布教を許可。これにより、京や大陸の文化に刺激を受けた山口独自の「大内文化」が生み出されました。

国宝瑠璃光寺五重塔 令和の大改修について

山口市のシンボルともいえる国宝瑠璃光寺五重塔は、嘉吉二年（1442年）に、大内義弘の供養塔として建立されました。その美しい姿は日本三名塔の一つに数えられ、大内文化の最高傑作として国宝に指定されています。瑠璃光寺五重塔は、建立以来600年近くもの長い間、修復を重ねることでその美しさを後世へと受け継いできました。

この度、所有者である宗教法人瑠璃光寺では、経年劣化への対応として約70年ぶりの檜皮葺屋根の全面葺き替え工事に取り組んでおられます。この工事は、国宝瑠璃光寺五重塔を次の世代へ引き継ぐために必要な保存修理であるとともに、文化財建造物の保存修理を支える伝統技術継承の場ともなります。



●アクセス

瑠璃光寺五重塔(香山公園)

- 山口県山口市香山町7-1
- ・山口駅からバス15分(市コミュニティバス)
- ・中国自動車道小郡1Cから車20分

●お問い合わせ

山口市交流創造部観光交流課

「昇華-shouka-大内文化」<https://shouka-ouchi.jp/>



国宝瑠璃光寺五重塔の全面改修を契機とした観光誘客プロジェクト

昇華

-shouka-

大内文化

約70年ぶりとなる国宝瑠璃光寺五重塔の大改修
またとないこの機会に
山口市に息づく大内文化を体感しよう

プログラム開催期間2024年3月まで

大改修中の今だけ体験できる、 大内文化を感じる特別プログラムをご紹介します

約70年ぶりとなる全面改修工事が進む瑠璃光寺五重塔。「大内文化」を花開かせた大内氏のマインドが空間アートに昇華する*をテーマに、さまざまな空間アートプログラムを香山公園で実施いたします。



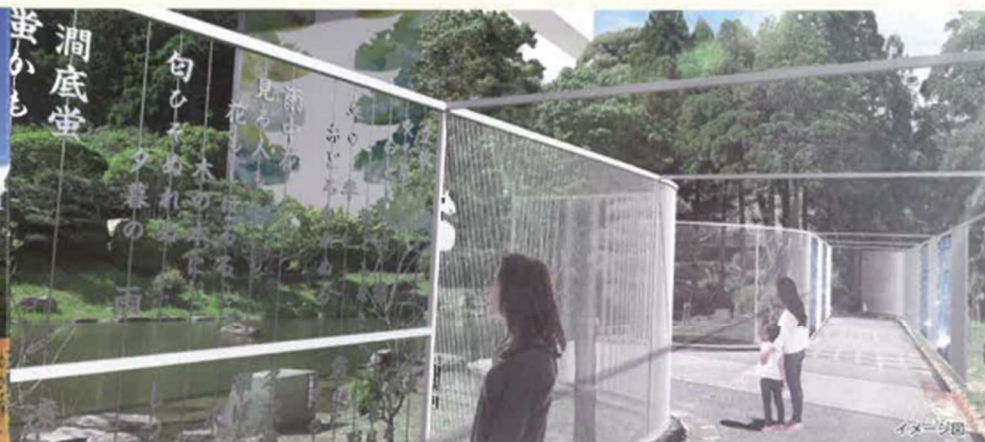
① 大内氏の思想を纏う五重塔(デザインシート)

改修中、五重塔は特別にデザインされたシートで覆われます。描かれたデザインは、五重塔を建立した大内氏の武家としての荒々しさや文化人としての繊細さ、大内文化を花開かせた大内氏の思想を表現しています。また、実寸大の五重塔を白抜きで表現することで訪れた人が五重塔の存在や魅力を感じながら、自由にシートの裏側にある五重塔をイメージしていただけるデザインとなっています。



② 大内氏と五重塔がわかる「時代絵巻」

改修中の工事用仮囲いに全長27mの「時代絵巻」を展示します。山口県出身のイラストレーターtaeco氏の親しみやすいイラストで、五重塔と大内氏の歴史を楽しみ学ぶことができます。



③ 大内氏の栄華を表す花のモニュメント

大内氏の家紋「大内菱」をモチーフとした植物のモニュメントが登場。様々な花木を配置し、山口を中心に繁栄を築いた大内氏の歴史を季節とテーマに合わせて3期にわたり表現します。



④ AR動画「切り絵で魅せる五重塔」

スマホアプリ「COCOAR」で「五重塔デザインシート」を読み取ると、山口県出身の切絵アートクリエイターAtsuomi氏による五重塔の切り絵アートが出現。制作過程をお楽しみいただけます。制作された作品は瑠璃光寺本堂で展示しています。



写真はイメージです

2023年12月23日(土)～2024年2月25日(日)

⑤ 大内文化 思想をめぐる道

歴代当主が動機集に入集するなど、和歌に長けていた大内氏。香山公園の池周辺に「和歌のカーテンゾーン」を展開し、大内氏の思想と文化を感じ取れる空間を演出します。さらに、「スタンドグラスゾーン」では、大内氏が、異文化のキリスト教や京都などの、様々な文化を吸収しながら繁栄していく様子を、アクリル板を通して白いカーテンに写し出される色彩豊かな光で表現します。

2024年1月19日(金)～1月28日(日)

⑥ プロジェクションマッピング

様々な文化を取り入れ山口を繁栄させた大内氏の思想や、その山口に惹かれ来訪した歴史上の人物を、光と映像のアートで再現します。通路のカーテンやデザインシートを活用したプロジェクションマッピングを行い、幻想的な空間の中で大内氏の世界観を感じることができます。

